

# 町政執行方針

3月1日に招集された平成25年第2回栗山町議会定例会で、椿原紀昭町長が平成25年度町政執行方針を表明しました。  
その全文を紹介します。



平成25年第2回栗山町議会定例会の開会に当たり、町政執行に臨む私の所信を申し上げます。

本年度は、私が町民の皆さん、議員の皆さんから温かいご支援を賜り、町長に就任いたしましたして7年が経過し、2期目の締めくくりの年を迎えます。

1期目の「基礎づくりの期間」に推進した未来への布石が、2期目の「展開の期間」で、本町自治の新たな動きとして芽吹き始めたところであり、それを確かなものにする集大成の1年にしたいと、心新たにしているところであります。

就任時にお約束した「5つの宣言」と「10のチャレンジ」の着実な達成に向け、本年度は、一つひとつの施策をさらに推進し、明日の栗山への道筋をしつかりと切り拓いてまいりたいと考えております。

今、我が国は、東日本大震災からの復興、原子力安全対策や電力の安定供給、世界経済の減速に伴う景気後退など

さまざまな課題に直面しております。また、私たちを取り巻く社会環境も、急速に進む人口減少、少子高齢化、さらには長引く景気低迷による地域経済や雇用環境の悪化など、一段と厳しさを増してきております。

このような中、新たな一歩を踏み出す地域再生への道のりは、決して平坦なものではありませんが、このような時だからこそ、ひるむことなく困難に立ち向かい、逆境をチャンスに創り変える気概と行動が、我々に求められております。

今こそ、我がふるさと栗山が持つ「栗山力」・「共生力」・「町民力」の3つの力を最大限に活かし、「栗山町自治基本条例」の責任と自覚のもと、全職員挙げてその使命を共有し、町民皆さんと積極果敢に挑戦する町政を推進してまいります。

これまでの「醸成・「飛躍」そして「安定と充実」の時を経て、「集大成」となる新年度の町政執行に当たり「3つの基本目標」を掲げ、揺るぎない信念のもと、全力で取り組んでまいります。

## 3つの基本目標

### 「ふるさと」

1点目は「ふるさと」を奏でる栗山の創出であります。さまざまな困難が立ちほだかる時代のうねりの中に、未来へと向かう潮流を見いだし、夢と希望あふれるまちとして成長するためには、「栗山力」のさらなる充実を図っていく必要があります。

その重点施策として、「総合的な子育て支援体制」の強化、「地域医療対策事業」の推進、「まちなかケアラージカフェ」の笑顔の運営支援、「第3期栗山農業ルネッサンス」の推進、「海外販路開拓支援事業」の実施、「栗の活用プロジェクト」の推進、「栗山町景観条例」の本格施行などに取り組まます。

無限の可能性を秘めた栗山というステージで、町民一人ひとりが主役となつて、「ふるさと」を奏でる栗山を創出してまいります。

### 「未来」

2点目は、「未来」を切り拓く栗山の創出であります。東日本大震災をきっかけに、環境への関心が一段と高まる中、栗山の豊かな自然環

境をかけがえのない財産として継承するためには、「共生力」のさらなる充実を図っていく必要があります。

その重点施策として、「ふるさと体験教育事業」の推進、「炭化処理施設」の安全かつ効率的な稼働、「再生可能エネルギー」導入可能性調査の実施、「節電啓発対策事業」の推進、「消防救急デジタル無線」の整備などに取り組まます。

開拓から125年、連綿と守り育てられてきた父なる御大師山。そして母なる夕張川をはじめ、美しい自然を心の豊かさの源として、「未来」を切り拓く栗山を創出してまいります。

### 「次代」

3点目は、「次代」に繋ぐ栗山の創出であります。地域のことは地域で決めるという地域主権改革が進展する中、ふるさと栗山が自律した地域社会を築き上げるためには、「町民力」のさらなる充実を図っていく必要があります。

その重点施策として、「栗山町自治基本条例」に基づくまちづくりの推進、成熟した「住民自治」の仕組みづくり、「外部評価制度」および「財

政モニター制度」の充実、「栗山町第6次総合計画」の策定などに取り組みます。

平和で穏やかなふるさとの暮らしと、町民が互いに支え合う絆を繁栄の道標として、「次代」に繋ぐ栗山を創出してまいります。

以下、本年度の主要施策の概要を「栗山町第5次総合計画」におけるまちづくりの基本目標に沿って申し上げます。

### 「町民・地域・行政」

#### 「みんなが主役のふるさとづくり」

地方が、その力量を試される分権時代において、町民一人ひとりが自治の主体であることを認識し、積極的にまちづくりに参加する。仕組みづくりを進めてまいります。

ふるさと栗山の歴史や伝統文化への誇りを持ち、この地が終のすみかと町民誰もが実感できる成熟したまちを目指してまいります。

### ■住民自治

将来にわたって活力あるまちであり続けるため、町民が輝く未来への強い絆と繋がりを基調とする地域づくりを進めてまいります。



まちづくり協議会（自治区）の防災図上訓練

### ○今年の約束

- ・自治区の活動支援に、引き続き取り組みます。
- ・NPOの活動を支援します。

### ■町民参加と協働

町民主役の自律した自治を基本理念とする「栗山町自治基本条例」のもと、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

### ○今年の約束

- ・自治基本条例に基づく、まちづくりを推進します。
- ・町民参加による第6次総合計画の策定に着手します。

### ■行政運営

情報の共有と町民参加の推進を基本に、町民から信頼され着実に進展する組織を目指



外部評価委員会による意見書の提出

し、町民福祉の向上を第1に掲げ推進してまいります。

### ○今年の約束

- ・外部評価制度、財政モニター制度を継続します。
- ・平成25年度予算説明書を全戸配布します。

### ■行財政改革

未来を託す子どもたちへの責任を。果たすため、不断の行財政改革に取り組み、揺るぎない行財政基盤の確立に向け、取り組んでまいります。

また、不誠実な町税などの滞納者に対し、引き続き滞納解消と租税負担の公平性確保に向けた厳正な対策を講じるとともに、納税の利便性の向上を図ってまいります。

### ○今年の約束

- ・がんばる栗山プラン21を着実に推進します。
- ・土地開発公社事業を町が継承します。
- ・日曜納税相談窓口を開設します。

### ■広報広聴活動

広報くりやまや町ホームページなど多様な方法で、行政情報を積極的に提供し、町民の皆さんとの情報の共有を図ってまいります。

### ■役場組織

町民目線に立った行政サービスを提供するため、職員が能力を最大限発揮できる組織づくりを目指してまいります。

### ○今年の約束

- ・組織機構の見直し、職員の適正配置に向けた検討を進めます。

### ■職員の資質向上

地域主権時代に即応し専門性と総合性を兼ね備えた職員を育成するため、積極的に職員研修を進めてまいります。

広域行政の推進につきましては、行政運営の効率化と町民サービスの向上、さらには活力ある地域づくりを進めるため、南空知圏域および近隣市町との広域連携やネットワークの充実を図ってまいります。

### ○今年の約束

- ・近隣市町による広域連携に向け、協議を進めます。



子どもたちの健康を守るため、各種予防ワクチン接種の無料化など、安心して子どもを生み育てる環境の整備・充実を図る。



昨年度、町内外の4,000人以上が体験した「ふるさと体験プログラム」。雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを拠点とした自然環境教育の充実を図る。

## 生活・環境 「人と自然にやさしい ふるさとづくり」

町民参加による自然環境の保全・再生および国蝶オオムラサキの育成保護活動などを、引き続き支援するとともに、ふるさと栗山の豊かな自然を活かした自然環境教育を推進してまいります。

また、地域循環型社会の実現に向けた取り組みを推進し、地域資源の有効利用に努めてまいります。

### ■自然環境

ハサンベツ地区、フアーブルの森、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス、夕張川などの身近な自然環境を拠点とする「ふるさと体験教育事業」を一層充実し、その保全・再生・保護等に関する郷土愛の高揚を図ってまいります。

また、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団など関係機関・団体と連携し、町外への情報発信に努め、自然体験型の交流人口拡大を図ってまいります。

### ○今年の約束

・ふるさと体験プログラムの充実を図ります。

犯協会や暴力追放運動推進協議会など関係機関・団体と連携し、犯罪のない明るく安全な地域づくりを推進してまいります。

### ■消費者対策

依然として悪質商法などの被害が 相次いでおり、引き続き正しい知識の普及啓発に取り組むとともに、消費者協会と連携し、相談体制の充実を図ってまいります。

### ○今年の約束

・近隣4町の広域消費者相談業務を継続します。

## 医療・保健・福祉 「安心して暮らせる ふるさとづくり」

すべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができる持続可能な保健・医療・福祉・介護サービス体制を確立し、温もりあふれる地域づくりを推進してまいります。

また、安心して子どもを生み育てる環境の整備・充実を図るとともに、「まちの宝」である子どもたちの健全な成長を、地域全体で守り育てるまちづくりを目指してまいります。



ごみ分別の徹底に向けた取り組みを実施

### ■環境衛生

低炭素型社会の実現を目指し、ごみの再資源化を推進してまいります。

また、栗山独自のごみ分別をさらに徹底し、埋立ごみの減量化により最終処分場の延命を図るとともに、先進的な「炭化処理施設」の安全かつ効率的な稼働に努めてまいります。

### ○今年の約束

・ごみ分別の徹底により、最終処分場の延命を図ります。

・一般廃棄物処理基本計画を見直します。

### ■環境保全

再生可能エネルギーの調査を実施し、地域資源の有効利用に向けた検討を進めてまいります。

### ■予防医療

初めて特定健診を受診する40歳の健診料を無料とするほか、健康づくり推進協議会と連携した啓発活動を推進するなど、受診率の向上を目指してまいります。

また、次代を担う子どもたちの健康を守るため、子宮頸がん、小児肺炎球菌、ヒブ、水ぼうそうおよび、おたふくかぜ予防ワクチン接種の無料化を継続してまいります。

### ○今年の約束

・くりやま健康マイレージ事業を支援します。

・子宮頸がん、小児肺炎球菌、ヒブ、水ぼうそうおよびおたふくかぜ予防ワクチン接種の無料化を継続します。

### ■地域医療

町民の疾病構造に対応した医療サービスの提供、超高齢社会を見据えた医療と介護の連携を図るため、栗山赤十字病院を中心とした連携体制の構築に向け取り組んでまいります。

また、将来にわたり町民が安心して医療サービスが受けられるよう、栗山赤十字病院への支援を引き続き行うとともに、町民の救急医療の適正な受診について啓発を進めて

また、住宅用太陽光発電システムの設置助成や街路灯・防犯灯のLED化を推進するほか、「節電啓発対策事業」を実施するなど、環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

さらに、公害対策として、町有施設内で保管しているPCB廃棄物の適正処理を行うてまいります。

### ○今年の約束

・再生可能エネルギー導入可能性調査を実施します。

・住宅用太陽光発電システムの設置に対する助成を継続します。

・節電啓発対策事業を実施します。

・PCB廃棄物を適正処理します。

### ■消防行政

町民の生命と生活を守る「消防救急デジタル無線」の整備など、各種災害に迅速かつ的確に対応できる体制の強化を図ってまいります。

また、住宅用火災警報器の普及・促進をはじめ、広報活動や火災予防査察等を通じて防火意識の高揚を図ってまいります。

さらに、各事業所や町民を対象とした救急講習会を積極

まいります。

### ○今年の約束

・医療と介護の円滑な連携を推進します。

・栗山赤十字病院に対する支援を継続します。

### ■地域福祉

社会福祉協議会など関係機関・団体と連携し、高齢者・要援護者等支援システムを活用した町民主体の地域福祉ネットワークづくりを進めてまいります。

また、社会福祉協議会による在宅サポーター事業やケアラー（介護者）事業を、引き続き支援してまいります。

○今年の約束

・町民主体の地域福祉ネットワークづくりを進めます。

### ■児童福祉

「栗山町次世代育成支援行動計画」をさらに推進するため、ファミリーサポートセンター設置に向けた取り組みを進めるなど、総合的な子育て支援体制の強化を図ってまいります。

また、医療保険が適用されない高度な不妊治療を受けられる方への治療費助成を増額してまいります。

### ○今年の約束

的に開催するとともに、医療機関と連携し、救命率向上を目指してまいります。

### ○今年の約束

・消防救急デジタル無線を整備します。

・栗山消防団第1分団第2部の小型ポンプを更新します。

### ■防災

「栗山町地域防災計画」および「栗山町災害時備蓄計画」を見直し、防災対策の充実を図ってまいります。

また、災害時における円滑な対応のため、防災訓練や防災知識の普及啓発に取り組んでまいります。

### ○今年の約束

・自主防災組織の設置を推進します。

・総合防災訓練、職員行動訓練を実施します。

### ■交通安全対策

交通安全施設の整備を進めるとともに、交通安全協会など関係機関・団体と連携し、交通安全教育を推進するなど、交通事故の防止に努めてまいります。

### ■防犯対策

家庭・地域・学校さらに防



子育て支援の拠点施設「子育て支援センター」

・義務教育終了時までの医療費助成を継続します。

・ファミリーサポートセンター設置に向け、子育てを応援する提供会員を養成します。

・子育てヘルパー利用者の負担軽減を図ります。

・子ども・子育て支援事業計画策定に向け、実態調査を行います。

・不妊治療費の助成を増額します。

・創立保育所の民営化を進めます。

### ■高齢者福祉

「まちなかケアラズカフェ」の運営を支援し、高齢者の社会参加と地域活動を促進する環境整備を進めてまいります。



優秀な活動が認められ表彰を受けるスポーツ団体

優秀な活動が認められ、8 人の指導者と、スポーツ少年団の 8 団体が北海道スポーツ少年団本部より、表彰された。

■**地域間交流および大学連携**  
たくましい実践力のある視野の広い青少年の育成を図るとともに、くりやま地域大学を開講し、協定大学との連携による専門的な学習機会を提供してまいります。  
また、昨年度に引き続き被災地児童生徒交流事業を支援

○**今年の約束**  
・栗山水泳プール、町民球場を改修します。

■**スポーツの振興**  
体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、町民が気軽にスポーツ活動やレクリエーション活動に参加できる環境づくりを推進してまいります。  
また、引き続き総合型地域スポーツクラブを支援してまいります。

○**今年の約束**  
・開拓記念館特別展示と広報アノ口発行を継続します。

■**芸術文化の振興**  
町民が気軽に芸術文化にふれることができるよう、文化連盟や芸術家などと連携し、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、貴重な文化財の保存・保護に努めてまいります。

〽**教育・文化・スポーツ**〽  
「人々が輝くふるさとづくり」  
幼児から高齢者まで、生き生きと意欲的に学ぶことができる環境を一層充実させるた

■**障がい者福祉**  
「第 3 次栗山町障がい者福祉計画・障がい者福祉計画」に基づき、障がい者の自立と社会参加を促進する総合的なサービスを実施してまいります。

○**今年の約束**  
・まちなかケアラースカフェサントの笑顔の運営を支援します。  
・熟年人材センターの運営を引き続き支援します。  
・認知症予防事業を実施します。  
・泉徳苑増改築事業を支援します。

また、「第 5 期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、新たに認知症予防事業を実施するなど、介護予防の取り組み強化や地域に密着した介護サービスの充実を図ってまいります。



昨年、オープンした「まちなかケアラースカフェサントの笑顔」。高齢者の社会参加と地域活動を促進する環境整備を進める。

め、学校・家庭・地域の連携・協働による、「栗山ふるさと教育」を推進してまいります。  
以下、教育委員会の方針を尊重し、教育施策を推進してまいります。

■**幼児および家庭教育**

豊かな感性を持ち健やかに成長するための環境づくりに努め、家庭・保育所（園）・幼稚園・小学校・地域と連携・協働し、子どものより良い発達の基盤となる家庭教育機能の向上を図ってまいります。

○**今年の約束**  
・家庭教育サポート企業等制度の活用を推進します。  
・就学前の幼児を対象とした「ふるさと体験教育」を推進します。

■**学校教育**

「ふるさと栗山でしっかりと学び、生き生きと活動する子ども」を主題に、学校・家庭・地域が連携・協働し、さまざまな課題に立ち向かう人としての土台をつくる教育を推進してまいります。また、継立中学校と栗山中学校の統合につきましては、両校生徒の融合を第一に考えた具体的な手立てをとってまいります。

○**今年の約束**



オーストラリアで貴重な体験「少年ジェット」

し、栗つ子と福島の子どものちの交流を図ってまいります。

○**今年の約束**  
・少年ジェット派遣を継続します。  
・くりやま地域大学を継続します。  
・ふくしまキッズ栗山サマーキャンプの受け入れを支援します。

〽**産業**〽

「元気で活力あるふるさとづくり」

町民が豊かな暮らしを営むことができる地域産業の持続的発展を目指すため、本町の基幹産業である農業と各産業との連携を図り、将来にわたる着実に成長する力強い地域経済を構築してまいります。

・特別支援教育支援員の配置を継続します。  
・小学校のフッ化物洗口を継続します。  
・統合に向けた中学校の教育課程を整備します。

■**北海道介護福祉学校**

建学の精神と教育目標を大切にする地域に開かれた学校づくりを目指し、定員確保に向けた積極的な学生募集を進めるとともに、高い資質や技術を兼ね備えた介護福祉士を養成してまいります。

また、福祉先進国フィンランドとの研修交流事業を継続してまいります。

○**今年の約束**  
・介護福祉学校周辺整備を継続します。  
・フィンランドとの研修交流事業を継続します。



介護福祉学校のフィンランド研修交流を継続

■**青少年の健全育成**

青少年育成会や協定大学など関係機関・団体と連携し地域の教育資源を活用した体験事業を通じ、人間性豊かな青少年を育成してまいります。

○**今年の約束**  
・栗山キッズクラブ事業の充実を図ります。

■**社会教育**

「ふるさと栗山とともに支え合い、未来を築く町民」を主題に、主体的な学びを育てる学習機会の提供に努め、町民が豊かに学び、その成果を活かすことのできる生涯学習社会の環境づくりを推進してまいります。

○**今年の約束**  
・栗つ子支援事業を継続します。

■**図書館運営**

町民による身近な図書館づくりに努め、小中学校と連携し、「栗山子どもの読書推進計画」を推進してまいります。

○**今年の約束**  
・図書館システムを更新します。  
・小中学校図書室との連携を強化します。

■**農業生産基盤の整備**

生産性および収益性の向上を図るため、基盤整備事業を促進してまいります。

○**今年の約束**  
・杵臼・南角田・継立地区の道営基盤整備を継続します。

■**林業の振興**

「栗山町森林整備計画」に基づき、公益的機能の維持・増進を図るため、森林組合と連携し、適正な森林の整備を促進してまいります。

○**今年の約束**  
・未来につなぐ森づくり推進事業を継続します。  
・林業専用道桜山本継線開設工事を実施します。

■**工業の振興**

安定的な企業活動を支援するため、栗山商工会議所や金融機関と連携し資金需要の迅速な対応をしてまいります。

また、栗山工業団地の優れた立地環境を活かし、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、企業立地促進制度による誘致企業への支援を、引き続き行ってまいります。

○**今年の約束**  
・道内外の企業情報を収集し、積極的な企業誘致活動を展開します。



美しい農村景観づくりを振興



今年も、松栄団地 2 棟 20 戸の建て替えするなど、計画的な公営住宅の建て替えを推進する。

■**下水道事業**  
快適な住居環境の確保と経営の健全化を図るため、栗山下水道管理センター機器の長寿命化計画を策定するとともに、継立地区農業集落排水の公共下水道への統合に向け、検討を進めてまいります。

○**今年の約束**  
・ 桜山浄水場の機器および栗山地区の老朽管更新を継続します。

■**水道事業**

安全で良質な水を将来にわたり安定供給するため、浄水場機器および老朽管の更新を引き続き進めてまいります。

○**今年の約束**  
・ 松栄団地 2 棟 20 戸の建て替えなどを実施します。

■**住環境**

「栗山町住宅マスタープラン」に基づき、計画的な公営住宅の建て替えを推進するとともに、住宅のバリアフリー改修や老朽危険空き家撤去を進めてまいります。

の効率化を図り、町民皆さんの足確保に努めてまいります。

○**今年の約束**  
・ 最新情報を掲載した観光パ

昨年、新たに実施された「はじめてのおつかい in 栗山駅前通り商店街」。賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりへの支援を継続



■**商業の振興**

栗山商工会議所と連携し、商店街空き店舗対策事業や子育て応援事業さらに、まちの駅栗夢プラザへの運営支援など、賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりへの支援を引き続き行つてまいります。また、経済発展の著しい東アジア市場における本町特産品の販路開拓にチャレンジする事業者を支援してまいります。

○**今年の約束**

・ 空き店舗活用支援事業を継続します。  
・ 子育て応援事業を引き続き支援します。  
・ 海外販路開拓の取り組みを支援します。

■**観光の振興**

観光施設などの P R パンフレットを作成し、観光情報の発信強化に努めるとともに、不動産の滝の環境整備を引き続き進めてまいります。

また、北海道の春を告げる一大イベントとして定着した、くりやま老舗まつりをはじめとする各種イベントを積極的に支援するなど、交流人口と消費の拡大を図つてまいります。



一大イベントとして定着したくりやま老舗まつり

ンフレットを作成します。  
・ 不動産の滝のメイン看板を設置します。

■**栗山ブランドの創出**

「栗の活用プロジェクト」をさらに推進するため、先進地の協力や関係機関との連携により、栽培技術の導入や将来の商品化に向けた食味テストを実施するなど、国内最北端のブランド栗の産地化を目指してまいります。

○**今年の約束**

・ 栗の活用プロジェクトを継続します。

■**移住対策**

くりやま移住促進協議会と連携し、移住フェアなどで本町の P R に努め、短期移住や季節移住など多様なニーズに



継続して進められる老朽管更新事業

○**今年の約束**

・ 栗山下水道管理センター機器長寿命化計画を策定します。

■**河川の整備**

倒木除去や樹木の伐採などを進め、環境調和に配慮した河川整備を促進してまいります。また、雨煙別川、ポンウエンベツ川、阿野呂川およびポンアノロ川の改修工事の早期完成に向け、引き続き関係機関に要請してまいります。

■**地域情報化**

地域間における情報格差を是正するため、民間事業者に対して光ファイバー網などの町内エリア拡大を働きかけ、快適な情報環境の実現を目指してまいります。

対応した受け入れを行い、定住化を促進してまいります。

■**雇用対策**

就業希望者へ積極的な情報提供を行うとともに、ハローワーク専門員による職業相談を継続実施し、就業機会の拡大に向けた取り組みを強化してまいります。

○**今年の約束**

・ 3 町合同の職業相談会を引き続き開催します。

■**都市基盤**

「快適でやすらぐふるさとづくり」

町民に快適な暮らしを提供するため、豊かな自然と都市機能が調和したまちづくりを進め、幹線道路、生活道路および上下水道など、都市基盤の整備を行つてまいります。

■**街なみ景観**

ユニバーサル・デザインの観点に立つて、栗山の良さを実感できる魅力的な街なみづくりに取り組んでまいります。

○**今年の約束**

・ 栗山町景観条例に基づく、景観づくりを進めます。

■**市街地基盤の整備**

長期的な視点に立つたまち

の将来像を示す「栗山都市計画マスタープラン」などの見直しを進めるとともに、新町通街路整備の早期着工を目指し、地元期成会と一体となり、強く関係機関へ要請してまいります。

○**今年の約束**

・ 栗山都市計画マスタープランおよび緑の基本計画を見直します。

■**道路網の整備**

安全で快適な町道の整備を進めるとともに、近郊都市とを結ぶ国道および道道の整備について、引き続き関係機関へ要請してまいります。また、冬期間における道路交通の安全確保を図るため、バス路線などの主要幹線や通学路を優先し、迅速かつ機動的な除排雪を行つてまいります。

○**今年の約束**

・ 杵臼本線の改良舗装を継続します。  
・ 介護福祉学校通りの改良舗装を実施します。  
・ 桜丘鳩山線の歩道整備を継続します。  
・ ローター除雪車を更新します。

■**町営バスの運行**

利用者の利便性向上と運行

歴史的な政権交代から、再び自公連立政権へと移行し、経済再生に向けた金融政策・財政政策・成長戦略という 3 本の矢が打ち放たれました。

しかしながら、その成果は未知数であり、今、私たちがなすべきことは、直面する困難に決然と立ち向かい、未来への歩みを確実に一歩また一歩と進めることでもあります。

後漢王朝の初代皇帝であった光武帝が残した言葉に、「志ある者は、事<sup>こと</sup>に成る。」とありますが、何事もやり遂げようという志さえしつかりしていれば、どんな困難に会っても、必ず成し遂げることができるという意味が込められております。

この精神を心に刻み、先人が幾多の苦難を乗り越え、私たちに託したふるさと栗山の歴史と伝統文化を、今こそ私たちが、次代を担う人材を育て、引き継ぐ使命があると考えております。我がふるさと栗山は、さまざまな困難を乗り越え、輝かしい発展を成し遂



町民一人ひとりの幸せ実現のため、たゆみなき挑戦を！

# 教育行政執行方針

伝える力  
伝えあう力  
かわりあう力  
教育環境のいっそうの充実を



我が国では、学校教育においても社会教育においても、関係各位のたゆまぬ努力により着実な成果を挙げている一方で、学力や体力、いじめや不登校、体罰や校内暴力、児童虐待、家庭や地域の教育力、教育における格差等々、多くの課題を抱えております。

本町では、平成25年度、3つの小学校新入学児童合計は69人の見込みで、これにより小中学校5校の在籍児童生徒総数は890人前後になります。小中学生の合計は、平成元年度2000人、平成22年度1000人でしたので、減少速度には驚くばかりです。

教育行政は、これからの社会変化に対応する資質を育む教育や子育てのより良い環境づくりに全力を尽くすとともに、生涯学習社会にふさわしい諸施策を怠りなく推進しなければなりません。

幼児から高齢者まで、生き生きと意欲的に学ぶことができる環境を一層充実させるため、本町の教育全体を「栗山ふるさと教育」と考え、地域

の連携・協働の輪を一層拡大するよう努めてまいります。以下、学校教育、社会教育の2分野に大別して申し上げます。

## ふるさと栗山でしっかり学び生き生きと活動する子ども

はじめに、学校教育について申し上げます。

主題を「ふるさと栗山でしっかりと学び、生き生きと活動する子ども」とし、さまざまな課題に立ち向かう人としての土台をつくる学校教育の主要な方針について申し上げます。

学校教育につきまして、目標を4つ掲げて推進します。

### 1 「学ぶ意欲を高め学力を向上させる」

学校教育の使命は学力の質的向上であり、その生命線は、各学校の特色ある教育課程の編成実施です。「読み・書き・計算」など基礎的、基本的な知識・技能をしっかりと教え、「聞く・話す・考える・調べる」体験的な学習を通じてじっくりと学ばせる指導の徹底と「習得・活用・探究」型の指導で、子どもたちの学ぶ意欲を一層高めます。また、標準学力調査などに

より、児童生徒一人ひとりの学習状況の把握と分析に基づいた学力向上を図ります。

### 2 「豊かな心を育む」

思いやりや生命の尊さなどを学ぶ心の教育は、学校の全教育活動の総合力で行います。道徳の時間の指導を要に、副読本や心のノートの活用、ふるさと自然体験など、心に触れる教育活動で豊かな心の育成に努めます。

また、自己実現を支援する生徒指導も大切です。心のふれ合いを基とする指導を充実させ、子どもの「かわりあう力」を高めます。豊かな感性や創造性を培う読書活動の推進にも力を尽くします。

### 3 「すこやかなからだを育む」

北海道の子どもの健康、体力や運動能力が心配されております。家庭・地域・学校が力を合わせて取り組むべき課題です。体力・運動能力調査結果の活用、食育の推進、フツ化物洗口による虫歯予防など、子どもたちのすこやかなからだの育成に努めます。

### 4 「ふるさと体験を活用する」

夕張川やハサンベツなどで体験を通じて学ぶ栗っ子は、新しい発見の連続に瞳を輝かせ、意欲的に活動します。栗山の教師が「栗山を語り、栗



栗山のふるさと体験教育の実践

山から題材を得た指導をし、栗山で生き生きと体験させる」などの教育活動を広く実践するよう促します。自然体験を中核とする「栗山のふるさと体験教育」により子どもたちの「伝える力・伝えあう力・かわりあう力」を高め、ふるさとを大切にする人を育てたいと願っております。

### 充実させたい栗山ならではの6つの指導体制

目標達成のため、教育委員会の実践的施策として「6つの指導体制と6つの教育環境」について申し上げます。

#### ① 特別支援教育支援員8人の配置

学校生活や学習への適応度を高めるあたたかい指導を充実させるため、引き続き、栗

栗山の学校給食は、関係者から高く評価されております。可能な限り地元産物を優先した食材で調理する努力が続けられていることが大きな理由です。

栗山版「食に関する指導の手引」と栗山流「食育10選（実践）」・「給食だより」などにより、学校での指導や家庭における食育に関する啓発に努めます。

また、広域による学校給食センターの在り方の検討も引き続き進めてまいります。

#### ⑤ 教育相談体制の充実

生徒指導機能が十分に発揮されると全教育活動が充実し、子どもたちの全体的な学力が向上します。教育相談員と各学校とのきめ細やかな情報交流による生徒指導支援、子ども・子育て心の相談室や子育て支援関係機関・団体等との連携により、いじめ・不登校や虐待問題をはじめとする生徒指導上の諸課題に切れ目のない取り組みをします。

#### ⑥ 町民と協働するふるさと体験の一層の充実

「栗山ふるさと体験教育事業」により、「ふるさとを大切にする人を育む」教育が前進しました。これは、町民・地域・学校などが緊密に連携

して栗っ子のために力を出し合った協働の賜です。また、職業観を豊かに育てる両中学校の地域体験型キャリア教育も、各種企業のご支援の下、10年以上にわたって続けられております。

次世代育成には、地域・家庭・学校・教育委員会の連携・協働が必要ですが、本町にはその基盤がありますので、関係する皆様のご理解をいただき、一層の連携・協働の強化に挑戦します。

### 充実させたい6つの教育環境

① 教職員の実践的な力量の向上  
教育は人なり、教師は最大の教育環境であると言えます。常に 学び続け広く社会から信頼される教師が不可欠で、子どもたちも 保護者も町民も、「この子を少しでも伸ばしたい」と全力を傾注する情熱に満ちた教師を望んでいます。「教職への情熱・専門家としての力量・豊かな人間性」を備えた教師を育てるため、栗山町教育振興会の研修事業や各学校が主体的に行う公開授業、授業の改善を目指す「子どもたちの学力向上委員会」などの取り組みを支援し、学校教育の人的環境の質の向上を図ります。



外国語指導助手による英語の授業

山小学校への支援員5人を含め、各校の状況に応じて合計8人を配置いたします。本町の規模からは、8人の配置は特筆される施策です。平成24年度、栗山町特別支援教育推進協議会は栗山版の個別的教育支援計画「くりっこファイル」を作成しました。今後は、その活用を通して、教員の専門性を高め、一人ひとりの児童生徒への教育支援体制の一層の充実を図ります。

#### ② 外国語指導助手・ALT複数配置

本町は、ALT導入の平成2年以來、2つの中学校にそれぞれ1人ずつのALT配置を継続してネイティブの発音に触れる機会を保障し、英語によるコミュニケーション能力の向上は勿論、中学校における自国の文化と伝統や異文化の理解を深めてまいりましたし、小学校の全児童がALTとの交流をしております。一昨年度に本格実施となった小学校5・6年生の外国語活動においても、ALT複数配置の好条件を活かし、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成のため、存分な活用を継続してまいります。



栗山産の食材が多く使用される給食

③ 町立図書館と学校図書室との連携・協働  
児童図書を各学級に巡回させる「ミニくりプロジェクト」、図書館司書を各学級に派遣する「学校図書室ステツプアップ事業」、町立図書館と学校図書室とのオンライン化など、栗山ならではの図書館活動に加え、朝の読書活動、ボランティアによる読み聞かせなどの取り組みにより、子どもたちの豊かな感性や創造性を育みます。

#### ④ 栗産・栗消を進める学校給食と食育の推進

ごはんを食べずに登校する子どもが少なからずいることや、家庭での基本的な生活習慣形成と子どもの学力や体力とが高い相関関係にあることが指摘されております。学校給食を含めて、子どもたちの食は大切な問題です。



全道各地で活躍する介護福祉学校の卒業生たち

## ② 基本的生活習慣形成を促進する啓発活動の充実

町内で最も長い歴史を持つ角田小学校の校訓は「きょうもみんなががんばるぞ、きれいな学校、よい子ども」です。「今日もがんばるぞ」そういう思いで登校する子どもは一日を意欲的に過ごします。教育の質的高まりが常に求められる現代にあつては家庭の教育機能の重要性も増します。家庭の教育機能が高まると学校教育も質的に向上します。

家庭教育啓発資料「子育て10選（実践）」や子どもたちの規律ある生活リズムを育むための「生活リズムチェックシート」の活用、家庭教育サポート企業等をはじめとする、地域との連携・協働により、基本的生活習慣の形成を担う家庭教育への啓発を継続し、子どものより良い発達の基盤となる家庭教育機能の向上を図ります。

## ③ 地域ぐるみによる安全確保や美化運動の推進

本町には、子どもたちの登校・下校を地域の大人が見守り続けている事例や児童生徒の通学路をいつもきれいにしている事例があります。子どもにとっては、地域のすべてが広い意味での教育環境であ

り、安全・安心確保も、町内の美化も大切な教育環境です。子どもたちの「危険を察知し回避する能力を高める」安全教育を進めるとともに、定期的な安全点検や「栗っピーの家」、町内のコンビニエンスストアなどの連携協力により、栗っ子の安全安心の環境づくりを進めます。

## ④ 学校教育環境の整備

より良い学校教育には、質の高い人的環境とともに充実した施設・設備が必要です。設置以来はじめてとなる各学校の温風暖房器用排気筒のメンテナンスにより、燃焼効率の改善を図ります。校舎周辺の遊具などの危険箇所対策も計画的に行い万全を期します。また、学校の施設・設備には、社会の進展に伴う整備が必要です。特に、携帯情報端末の急速な普及により、あらゆる分野で情報化が進展し、教育における指導手法も一大革新を迫られています。情報教育の一層の推進、教科指導におけるICT活用、校務処理のシステム化を3本柱とする教育の情報化を機能的・組織的に進める必要があります。将来的な学校コンピュータ教室の機器更新に備え、教科指導におけるICT

活用の拡大に対応するため、機器の整備や活用に関する調査研究を進め、昨年度導入した校務支援システムの有効な運用を図り、教職員が児童生徒と向き合う時間を増やせるよう支援してまいります。併せて、学校事務臨時職員を追加して配置し、教職員の事務負担の軽減を図ります。

## ⑤ 存在感のあるふるさと中学校にす環境づくり

教育の質は、学校・家庭・地域三者の総合力で決まると言われ、子どもをより良く育むには、学校と家庭と地域とがそれぞれの責任を果たしつつ、協働することが大切です。地域公開参観日、学校だよりの町内回覧や町ホームページへの掲載、学校評議員からの提言など、これまでの実績に立ち、小中学校が保護者や町民との関わりを強めて、ふる



iPadを導入した中学校の授業

の環境を整備します。以上2つの学生確保対策と併せて、次の方針により北海道介護福祉学校の経営の充実に努めてまいります。

(1) 本校の特色である、唯一の公立養成校であるという安心感と安定感、教授力・指導力の高さ、完備した女子寮、道内求人数の多さや就職率100%継続の実績、全道各地で活躍する本校卒業生の高い評価などをうったえる独特の一日体験入学会の充実（年6回開催）、進学相談会および高等学校訪問を強化します。

(2) 遠隔地からの一日体験入学会参加者に対する旅費および宿泊費の助成を引き続き実施します。

(3) 養成校の真の教育力が問われる平成27年度卒業生から導入される国家試験制度に向けての対策の充実・強化を図るとともに、学生個々に応じた指導を徹底し、確かな知識と技術、豊かな感性を身につけた介護福祉士の養成に努めます。

(4) 平成26年度入学生から実施される医療的ケアに関する教育内容に対応するため、調査・検討および教材教具の整備を進めます。

(5) 4人の学生を派遣し、福祉先進国フィンランドとの研修交流事業の充実に努めます。

(6) 開校以来の就職率100%の維持継続および正職員採用率のさらなる向上に向け、積極的な就職活動に努めます。

(7) 地域に開かれた学校づくりを目指すともに、学校ホームページを活用して広く情報提供を行います。

(8) 次世代を担う小中学生や高校生の介護体験の受け入れや、各学校に専任教員を派遣するなどして、職業選択のきっかけとなるイメージが醸成されるよう、各学校と連携した諸事業の推進に努めます。

## ふるさと栗山とともに支え合い未来を築く町民

次に、社会教育について申し上げます。

栗山らしい生涯学習社会の環境づくりを目指す社会教育は、「人々が輝くふるさとづくり」そのものです。町民が豊かに学び、その成果を活かすことのできる環境を一層充実させるため、主題を「ふるさと栗山とともに支え合い、未来を築く町民」として、推

さと栗山の学校として存在感を発揮し自信をもって教育活動を進めることができるよう、努めてまいります。

また、学校への外部からの評価や、平成20年度開始以来5年間を経過した「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の町議会への報告につきましても、一層の充実を図るため更なる検討を加えます。

## ⑥ 中学校配置の条件整備

栗山町の2つの中学校の配置につきましては、「栗山町立学校設置条例の一部を改正する条例」の提案をしたところですが、引き続き、栗山町の中学生世代の教育環境をよりよくすることを念頭に、平成25年度は、継立中学校と栗山中学校両校の滑らかな統合に向けて具体的な手立てをとります。生徒の融合を第一義に、関係する皆さんのご意見をいただき、本町の中学生が多くの仲間と「かわり合いながら」自らの生き方を考えたり、人間関係を豊かに広げたりすることができるような教育環境づくりに努めます。

## ■北海道介護福祉学校

昭和63年4月開校以来26年目を迎える北海道介護福祉学

進してまいります。

本年度は、4つの重点で執行します。

## 1 「ふるさとづくりへの意識を高める学習機会の提供と次世代の育成」

昨年は、意欲的で熱気あふれる栗山町民力が各方面の注目を浴びました。生涯学習社会は自ら学び行動する町民の意欲によって形成され「栗山ならではのふるさとづくり」もそれによって前進します。主体的な学びの場面設定を創意工夫し、幼児から高齢者まですべての町民が「ふるさとづくり」への意識を高めることができるよう努めます。以下、2つの方針で臨みます。

## (1) 栗山ならではの各種社会教育活動や町民の学びへの支援の充実

町民のニーズに基づく学びへの支援、地域と連携するふるさと教育活動への支援、各種社会教育団体との連携、生涯学習の情報提供、協定大学との連携による専門的な学習機会の提供など「ふるさととは栗山です。」の合言葉にふさわしいふるさとづくりに寄与する事業を推進します。

(2) 栗山ならではの連携・協力

校は、道内唯一の町立介護福祉士養成校として1920余人の有意な人材を輩出、その活躍と業績が各職場で高い評価を受け、介護福祉士養成校として確固たる地位を築いてまいりました。

我が国では、急速な高齢化社会の到来や、多様化・複合化する介護福祉施設などの急増、さらには、法律改正による平成26年度入学生からの喀痰吸引の医療的ケア業務に対応する新教育カリキュラム編成が求められるなど、従来以上に高い資質や技術を兼ね備えた介護福祉士の養成が必要となっておりま。

その一方で、介護福祉士への社会的評価の低さや長引く経済不況により介護福祉士養成校への進学者が減少傾向にあり、本校も例外ではありません。このような状況に対応するため、昨年度に引き続き2つの学生確保対策をもって臨みます。

第1に、進学希望する高校生等への周知・宣伝のため、学校ホームページの充実や進学情報誌、テレビCMの活用を図ります。

第2に、本校の自然豊かな教育環境をさらなる充実を期し、学校周辺の道路改良など

## による青少年の育成

家庭教育サポート企業等制度の活用をはじめとして、地域教育協議会や関係機関・団体との協力・連携の下、幼児教育・家庭教育への啓発を継続し、栗っ子の発達や成長を支援します。

青少年の育成につきましては、就学前の幼児を含め、栗山の自然環境や教育資源などを活用し、ふるさとでの原体験を積み重ねる事業を展開します。ふるさと栗山への愛着、広い視野と豊かな感性、たくましく挑み続ける実践力などを育むため、「体験学校・栗山キッズクラブ」を開設し、青少年育成会や協定大学をはじめとする関係機関・団体と連携した事業をさらに充実させます。

## 2 「ふるさと栗山に根ざした読書活動や芸術文化活動の推進」

栗山町図書館は、例えば、読書活動と子育てを結ぶ幼児とその保護者対象の「子育てブックスタート・だっこ＆ブック」、新刊図書を巡回し司書を派遣する「ミニくりプロジェクト・学校図書室ステップアップ事業」、栗山文庫の発行など栗山ならではの



雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

活動として高い評価を受けております。

心のゆとりと生活の潤いをもたらす本町の芸術文化活動も、町民主体の鑑賞事業や総合文化祭などが、独特の町民文化として根つき、各方面から注目されております。

以下、3つの方針で臨みます。

(1)図書館を生涯学習の重要な拠点とする事業の推進

平成23年度策定の「栗山子どもの読書推進計画」により、学校や町民ボランティアとの協働をさらに強めて、栗っ子の読書活動を充実させます。

また、備品の継続的な整備や郷土資料の電子化を図り、町民による身近な図書館づくりを進め、町民の読書活動を充実させます。

(2)芸術文化振興の環境づくりと主体的町民活動への支援

本町には、町民主体の歴史ある鑑賞事業をはじめとする芸術文化事業が数多くあります。町民の自主的・主体的な芸術文化活動や芸術創造のまちづくり事業などへの支援をするとともに、町民が気軽に芸術文化にふれることができるよう、文化連盟などの関係団体や芸術家と連携・協働し、その環境づくりに努めます。

(3)ふるさと栗山の文化財保存・保護とその活用の促進

先人の苦難と栄光の足跡に多くの教訓を得ながらまちづくりを進めてきた本町には、たくさんの方の貴重な文化財や史跡があります。開拓記念館や泉記念館をはじめとする拠点施設を中心に、文化財の保存・保護に力を尽くしている文化財保護委員会への支援を通じて、適正な保存・保護に努めます。

また、町民の郷土栗山を学ぶ機会として、特別展示や広報アノ口、親子もちつきなど、町民になじみの深い開拓記念館事業を有効に活用し、栗山の郷土学習・ふるさと学習を一層充実させます。

3「人々が輝くふるさとづくりに貢献する生涯スポーツの充実」

町民が気軽にスポーツ活動やレクリエーション活動に参加できる環境をつくることは、「人々が輝くふるさとづくり」にとつて大切な事業であり、活気あるふるさと栗山のまちづくりにも大きく貢献するものです。

本町には、歴史あるスポーツ大会が複数あり、開催回数が50回を大きく超えているも

充実を図ります。

また、小学校入学前の幼児対象のふるさと体験教育を充実させ、幼児期の家庭教育との連携を図ります。

(3)雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを拠点とするふるさと体験プログラムの充実と交流人口の拡大

旧雨煙別小学校は、子どもたちが栗山の豊かな自然環境の下で学ぶ際には、なくてはならない重要な教育施設となりました。ここを拠点とするふるさと体験プログラムは、町内外教育関係者に知られるようになり、栗山町地域教育協議会が主催する町民対象の「ふるさと教育交流会」や教職員対象のふるさと教育実践研究会を開催するまでになりました。平成25年度は、ふるさと教育の質を更に高めるため、町民・学校との連携・協働により、ふるさと体験プログラムの充実を図ります。

また、施設や周辺環境整備への支援や公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団との連携などにより、交流人口の拡大に努めます。

(4)地域間・国際交流による青少年の育成

本町の各種地域間・国際交流事業に参加した青少年は貴

のさえあります。情熱あふれる先輩町民が築いた基礎を現在の町民がしっかりと継承し、少子化や高齢化という困難な壁を越えながら奮闘している結果です。

以下、2つの方針で臨みます。

(1)スポーツ・レクリエーション活動の振興とスポーツ団体の育成・支援

学校体育施設の有効活用、幼児対象のキッズ運動塾から老若男女対象の全町ソフトボール大会まで、本町で年間を通じて多彩に展開される各種スポーツ行事への開催支援、スポーツ少年団をはじめとするスポーツ団体などの育成、総合型地域スポーツクラブへの支援、体育協会やスポーツ推進委員、指定管理者などとの連携による町民健康増進機会の提供に努めてまいります。

(2)体育施設の整備とスポーツ合宿の受け入れ体制づくり

本町には優れた体育施設が完備されておりますが、どの施設も経年変化によるいたみや機能低下が案じられるようになってきました。3つのプールの体育施設の整備をはじめ、施設や設備の計画的な整備を図り、町民の利用拡大を

重なる体験をし、大きく成長しております。少年ジェット派遣、姉妹都市角田市との交歓のつどい、協定大学をはじめとする学生の体験交流の推進など、地域間・国際交流事業により、たくましい実践力のある視野の広い青少年の育成を図ります。

また、原発事故の影響により野外での活動に制限のある福島の子どもたちを対象に、昨年度に引き続き、被災地児童生徒交流事業「ふくしまキッズ栗山サマーキャンプ」を支援し、雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスを拠点に、栗山の自然環境を活かした体験教育活動を通じて、栗っ子と福島の子どもたちとの交流を図ります。



栗っ子と福島の子どもたちの交流事業

最後に教育委員5人の決意の一端を申し述べ、結びといたします。

栗山町民憲章は昭和53年に制定されましたが、その憲章を基に定めた「栗山町教育目標」には、本町教育が目指す人物像として「ともに支えあい・希望の実現に挑み続ける人を育てる、生涯にわたって学び続ける人を育てる、ふるさと栗山を大切に育てる人を育てる」の3つが謳われております。ふるさと栗山の教育にかける先達の熱い願いが伝わってきます。

私どもは、目指す人物像と「町民力」に教訓を得て、栗山町教育目標達成を支える学力は、「伝える力」と「伝えあう力」を二本柱とする「かかわりあう力」であると規定しました。町民にとつても、これからの時代を担うことになる栗っ子にとつても、「伝えて・伝えあって、かかわりあう」ことが大切だと考えてのことです。

栗山町教育委員会は、平成19年度から「行動する教育委員会」を目指し、学校



行動する教育委員会を目指し  
教育行政推進に努めます！

教育・社会教育両分野の教育活動現場に可能な限り足を運び、「伝えて・伝えあって、かかわりあって」、よりよい教育環境を整備するように努めてまいります。

本年度も、栗山の教育に関する人的な環境と物的な環境の質の向上を目指し、連携と協働による学校教育、社会教育推進の要となるよう「行動する教育委員会」の初心に立ち、「ふるさととは栗山です。」にふさわしい教育行政推進に努めてまいります。

4「ふるさと体験教育の充実と交流による人材の育成」

私たち町民は、栗山の子どもたちに期待をかけ、人生の諸課題にたくましく挑み続ける人となるように願っております。

本町では、国蝶オオムラサキの生息が確認された昭和60年以来、次世代育成のため熱意ある町民が協働し、栗山の豊かな自然環境を守り育てる活動を続けてきました。本町の小中学校がふるさと学習を教育課程に採り入れるようになり、栗山の自然を舞台に、子どもたちが嬉々として学ぶことができるようになったのは、長年にわたる実績がある町民活動の賜です。

目指すとともに、スポーツ合宿団体への支援を継続します。



昨年も各種スポーツ大会で栗っ子たちが活躍

以下、4つの方針で臨みます。

(1)町民参加による自然環境の保全・再生への支援や、自然環境教育の推進

国蝶オオムラサキ育成保護、ハサンベツ里山20年計画事業、ふるさといきものの里フォーラムなど、町民の自主的な環境保全・再生に関わる事業への支援を通じて、町民の自然環境に関する意識の高揚と実践力の向上を図ります。

(2)ふるさと栗山の環境を活かした「ふるさと体験」の推進

平成22年度に制度化したふるさと自然体験教育事業は、は、栗山の歴史や文化や産業も学ぶことができる「ふるさと体験教育事業」に発展し、ハサンベツ地区・ファアブルの森・夕張川などの身近な自然環境を活用した「栗山ならではの五感総動員原体験教育」として定着しました。

子どもたちが、栗山の豊かな自然環境の下で学び、ふるさとに愛着や誇りを持って、心豊かにたくましく成長することを願い、この3年間積み上げた「ふるさと体験教育事業」の質を高め、自然環境教育を含めた、ふるさと教育の